

平成24年度重点テーマ連続シンポジウム 第3回  
リアルな地域のあり方を住まいとの関係で描く  
**地域で守るくらしや住まい**

2013年 **3月18日**(月) 13:30~17:00  
建築会館ホール(港区芝5-26-20)  
一般1000円 学生500円

参加費はすべて東日本大震災義援金として被災地にお送りします。

**主旨説明**

**松村秀一**(東京大学 教授)

**講演**(講演順)

**加藤孝明**(東京大学生産技術研究所 准教授)

**住まいと地域の減災に向けて**

—住まいと地域の分ち難い関係—

**伊藤明子**(国土交通省 住宅局住宅生産課長)

**災害復興に向けた住まい—住まいと地域—**

**中村政人**(3331Arts Chiyoda 統括ディレクター 東京藝術大学 准教授)

**まち・人をつなぐ、クリエイティブな被災地支援**

—“つくることが 生きること”「わわプロジェクト」の活動から—

**齊藤広子**(明海大学 教授)

**高層集合住宅のくらしは震災でどう変わる**

—超高層住宅の震災被害実態調査より—

**パネルディスカッション**

**住まい・地域の防災力**

講演のタイトルは変更されることもありますので、予めご了承ください。

プロフィール

松村 秀一

東京大学 教授

1985年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了、工学博士。1986年東京大学工学部建築学科専任講師、1990年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻助教授、2006年同教授。その間、ローマ大学、トロント大学、南京大学、大連理工学大学、モントリオール大学等で客員教授を歴任。日本学術会議連携会員。2005年建築学会賞(論文)、2008年都市住宅学会賞(著作)を受賞。著書に『建築生産(第二版)』2010年、『住まいのりすとら』2010年、『建築再生の進め方—ストック時代の建築学入門』2007年、『住に纏わる建築の夢—ダイマキシオン居住機械からガンツ構法まで』2006年、『建築とモノ世界をつなぐ』2005年、『建築生産』2004年、『団地再生—甦る欧米の集合住宅』2001年、他多数。

加藤 孝明

東京大学生産技術研究所 准教授

東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。工学(博士)。東京大学工学部総合試験所助手、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻助手、助教を経て2010年4月より現職。専門は、地域安全システム学。災害シミュレーション技術をはじめとする防災性評価技術、それを社会に結びつける「まちづくり支援技術」の開発を行う一方で、市民協働の防災まちづくりに実践的に取り組んでいる。2007年から「復興準備」研究に取り組み、東日本大震災の被災地支援も行う。市街地延焼リスク評価技術に対して日本建築学会奨励賞(2001年)、地域安全学会論文賞(2007年)。防災まちづくりの理論と実践に対して都市計画家協会楠本洋三賞優秀賞(2009年)を受賞。

伊藤 明子

国土交通省 住宅局住宅生産課長

1984年京都大学工学部卒業後、建設省入省。1991年宝塚市に出向後、1994年建設省都市局、住宅局を経て、2001年内閣官房都市再生本部事務局、住宅局市街地住宅整備室長、住宅総合整備課長を経て、昨年9月より現職。主な著書に、『高齢時代を住まう』(共著/建築資料研究社/1994年)

中村 政人

3331 Arts Chiyoda 統括ディレクター  
東京藝術大学 准教授

1963年秋田県大館市生まれ。「美術と社会」「美術と教育」との関わりをテーマに様々なアート・プロジェクトを展開。1998年アーティストイニシアティブコマンドNを主宰。2010年よりアーティスト主導・公設民営のアートセンター「3331 Arts Chiyoda」を立ち上げ、統括ディレクターを務める。2011年東日本大震災復興支援プロジェクト「わわプロジェクト」を始動。第49回ヴェネツィア・ビエンナーレ(2002年)日本代表。「3331 Arts Chiyoda」の業績により平成22年度芸術選奨文部科学大臣新人賞(芸術振興部門)受賞。近著に、『アール・ブリュット?アウトサイダー・アート?ポコラート!福祉×表現×美術×魂』(3331 Arts Chiyoda/2013年)、『つくること生きること』(コマンドN/2012年)、他。

齊藤 広子

明海大学 教授

1992年大阪市立大学大学院生活科学研究科修了、1998年明海大学不動産学部助教授、英国ケンブリッジ大学研究員を経て、2004年明海大学不動産学部教授、現在に至る。学術博士・工学博士。専門は、マンション管理、住居学。日本マンション学会研究奨励賞(1998年)、都市住宅学会論文賞(1999、2002年)、日本不動産学会業績賞(2001、2010年)、日本不動産学会著作賞(2007年)、都市住宅学会著作賞(2008年)、不動産協会優秀著作賞(2008年)日本建築学会学会賞(2009年)等。主な著書に、『これから価値が上がる住宅地』(学芸出版社/2005年)、『コモンでつくる住まい・まち・人』(共著/彰国社/2004年)、『不動産学部で学ぶマンション管理入門』(鹿島出版会/2005年)、『住環境マネジメント』(学芸出版社/2011年)、他。

■参加費 一般 1000円、学生 500円  
シンポジウム当日に受付にてお支払いください。  
参加費はすべて東日本大震災復興義援金として被災地にお送りします。

■申込方法

下記にご記入いただき、FAX(03-3484-5794)でお申し込みください。  
住総研HPからもお申し込みいただけます。

■申込締切 3月14日(木) 定員150名(先着順)

■お問い合わせ

一般財団法人住総研 e-mail [sympo@jusoken.or.jp](mailto:sympo@jusoken.or.jp)  
156-0055 東京都世田谷区船橋 4-29-8 Tel:03-3484-5381/Fax:03-3484-5794  
<http://www.jusoken.or.jp/symposium/jusoken.html>

このシンポジウムは継続職能研修(建築士会CPD)認定プログラム(3単位)です

■会場：建築会館ホール (東京都港区芝5-26-20)



JR 田町駅  
三田口徒歩4分  
都営地下鉄三田線  
A3出口徒歩3分

今年度住総研では「リアルな地域のあり方を住まいとの関係で描く」を重点テーマとし、様々な活動を行っています。研究助成のほか、年3回のシンポジウム開催に加え、当財団図書室でも関連資料を揃えております。当財団ホームページにて関連資料を掲載しておりますのでご覧ください。

参加申込み

締切3月14日

お名前(ふりがな)

ご所属 (  一般  学生 )

連絡先 (  ご所属  ご自宅 )  
( 〒 - )

e-mail アドレス

Tel

Fax

住総研 FAX 03-3484-5794